

瓊玉和歌集

瓊玉和歌集卷第二

夏歌

人人によませさせ給ひし百首

よるはもえひるは消えゆく蛍かな

ゑじのたく火にいつ習ひけん

蛍を

焼きすてし跡ともみえぬ夏草に

今はたもえて行く蛍かな

三百六十首御歌の中に

時分かぬ思ひの友よなにならん

蛍も夏ぞもゆるとはみる

「国歌大観」より